

# 自分らしい生き方も「勝ち取れる」社員に。



株式会社 弘新機工

所在地:新潟田市 業種:サービス業 従業員:16人

業務内容

トラックをはじめとする、大型車両や特殊車両のボディ製作、整備、油圧機器の修理を行う。その他、車両部品や中古車の販売、レンタカー事業などを展開。



代表取締役社長 渡辺 修士 さん

## こんな取組を推進しています!

- 取組1 作業効率・職場環境の改善**  
1日4回のミーティング、委員会活動、失敗報告に対する報奨金制度などを導入
- 取組2 多能工化で急な休みにも対応**  
急な休みでも申告しやすく、また休む人を快く送り出せる環境へ
- 取組3 何事も「自分ごと化」する環境づくり**  
何でも主体的に取り組む姿勢が自然と身につく職場に

最も大切にしていることは、求める働き方を「勝ち取れる」社員の育成です。「自分の頭で考え、決断し、行動できる」。そんな社員が育つ会社を目指し、日々環境改善に取り組んでいます。

こまめにミーティングを行い、各部署の進捗を確認して業務効率化に役立てたり、仕事とは別に委員会活動をもつけ、部署や社歴といった垣根を越えたメンバーであらゆる不満点を改善してもらっています。また、「失敗報告」をしてくれた社員には、隠さずに公開した勇気をたたえて、私のポケットマネーから報奨金を授与。小さな失敗でも、その失敗をしないためはどうすればいいのかを全員で考えることが、大きなミスの防止に繋がると考えているからです。

私は、「まずはやってみる」ことが重要だと考えています。タイムリーな情報共有、分かりやすい後輩指導の一助にと、インカムやタブレット端末を全員に支給。上司とは別に頼れる相手をつくらせ、「ブラザー・シスター制度」を導入。女性社員が働き続けたいと思う職場を作る取組「Mama Shining制度」の始動など、挙げきれないほどの取組を行ってきました。そのどれもが、ミーティングや個別面談、日報を通して、社員から聞いた悩みや要望に応えるために始めたものです。私から一方的に強いたのではないからこそ、社員は積極的に取り組んでくれます。

以前は、「この会社にいると仲間がいなくなる」と、社員が離れていくようなブラックな会社でした。ですが今では「もっと会社を良くしよう」と、社員が主体的に動いてくれるまでになりました。ワーク・ライフ・バランスの推進のためには、会社を「自分ごと」に感じてもらうことが何より大切だと感じています。

そして、職場で身につけた主体的な姿勢はそのままに、家庭でも自分の役割をしっかりと果たしてほしいと思っています。働き方だけでなく、自分らしい生き方も「勝ち取れる」社員が増えるよう、これからも一丸となって働き方改善に取り組めます。



イクメン社員  
佐藤 駆 さん  
(20歳)



## 「仕事をしているから」は言い訳にしたくないんです。

社長の勧めもあり、生まれてすぐに1週間育児休業を取得しました。先輩や同期も取得しており、育児休業の取得が当たり前になっている職場なのでとても助かりました。妻は僕の育児休業取得に驚きつつも喜んでくれていた様子でした。休業中は、ご近所への挨拶回りや沐浴の手伝いなどを経験。3人でゆっくり過ごしながらも、育児の大変さを実感した1週間でした。

当社は、毎月1回社長との個人面談があります。妊娠・出産の話もこの面談で伝えました。日々の心配事や仕事の悩みを気兼ねなく話せる場があるのは、本当にありがたいです。これから、妻が職場復帰した後の働き方も社長に相談しながら決めていければと思っています。

まだ若い僕ですが、家族を養うという気概はあります。休日は妻の負担が減るように僕が料理を担当。自分の作業着は自分で洗濯しますし、平日も風呂掃除や食器洗いなどできる限りやります。仕事と同じく「家事も育児も自分ごと」ですから!

2018年3月発行



## 私たちはイクメン応援宣言企業です!

新潟県では、男性労働者が育児に参加しやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業を「イクメン応援宣言企業」として登録しています。

もっと詳しく知りたい方は

にいがたイクメン応援宣言



<https://niigata-ikumen.jp>